

平成 27 年 (2015 年) 7 月 30 日 <No- 8 >

長野県松本家畜保健衛生所  
〒390-0851 松本市島内西川原 6931  
TEL: 0263-47-3223 FAX: 0263-47-0101  
E-mail: matsukachiku@pref.nagano.lg.jp  
中信家畜畜産物衛生指導協会  
TEL: 0263-47-6789

# かほだより

BVD

検査により次のような事例が確認されています。

引き続き牛ウイルス性下痢・粘膜病 (BVD-MD) ウイルスの侵入防止・まん延防止にご協力下さい

## 事例 1 放牧前の検査において、持続感染 (PI) 疑い牛を 1 頭摘発しました

今年度4月～7月29日までに放牧前の牛のBVD遺伝子検査を約600頭実施し、うち1頭のPI牛を摘発、公共牧場における感染拡大を未然に防ぐことができました。(検査機関: ㈱微生物化学研究所及び松本家畜保健衛生所)

## 事例 2 死亡牛の病性鑑定で県内初のBVDV2型を確認しました

当所管内の肥育農家において、発育不良により死亡した県外導入の肥育牛(死亡時14カ月齢)の病性鑑定を実施したところ、県内初となるBVDV2型が分離されました。

BVDウイルスには1型と2型があり、今まで県内ではBVDV1型が分離されていましたが、今回初めてBVDV2型が分離されました。なお、病原性に大きな違いはありません。



## 侵入防止・まん延防止のため、ワクチン接種とともに引き続き検査を受けましょう

- ・搾乳牛はバルク乳検査に併せて検査を実施しましょう(今年度前半で65戸検査し全て陰性)
- ・また、新たに生まれた子牛は検査を受け、PI牛でないことを確認しましょう
- ・定期のヨーネ病検査等に併せて検査を受けましょう
- ・搾乳牛(バルク乳)・繁殖牛だけでなく、育成牛・肥育素牛を導入した際は検査を受けましょう

なお、「BVD-MDとは」、「BVDのワクチンプログラムについて」は、かほだよりNo.3をご覧ください。

BLV

## 牛白血病感染拡大防止のための器具等の洗浄・消毒方法の紹介

牛白血病ウイルスは、血液(リンパ球)の中に潜んでいます。アブ等の吸血とともに、除角、削蹄、人工授精・妊娠鑑定(直腸検査)など出血を伴う作業により、器具・機材、作業実施者の手等に付着した血液から感染が広がる恐れがあります。このため、吸血昆虫対策、注射針や直検手袋の使いまわしをしないことに加え、**器具に付着したリンパ球を破壊**することにより、ウイルスのまん延を防止することが大切です。水に数秒漬けただけでもリンパ球は破壊されますので、器具等に付着した**糞・血液等の有機物**はブラシで水洗する等、なるべく**除去した後**、普段お使いの**消毒薬を入れたバケツに浸漬**してください(他の病原体のまん延を防止する目的もあります)。

また、可能であれば作業器具を2つ以上用意し、1つを使用した後、その器具を消毒している間に別の器具で作業を行うのが望ましいとされています。



しあわせ信州

問い合わせ先: 防疫課 宮澤、神戸(担当)

信州 ACE(エース)プロジェクト **A**ction [体を動かす] **C**heck [健診を受ける] **E**at [健康に食べる] 推進中!